

ふれあい

祝50周年

阿佐谷盆おどり



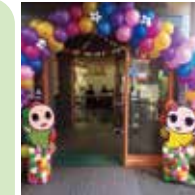
2・3面
祝50周年
阿佐谷盆おどり

芝生ジャンボリー
ラジオ体操
委員研修

4面
協力・協働事業
委員名簿
新任挨拶

令和4年度 杉並区阿佐谷青少年育成委員会名簿

役名	職名(出身母体)	氏名	役名	職名(出身母体)	氏名
会長	地域協力者	水澤 紀子	委員	杉森中 PTA 副会長	白川 桂子
副会長	地域協力者	石田 阿以子		杉並第七小 PTA	荻原 麻里
	民生児童委員	近藤 澄		杉並第七小 PTA	曾田 佐希
会計	青少年委員・地域協力者	泉 市 清子		商店会	松本 常良
	青少年委員・地域協力者	諸橋 記子	学校関係	阿佐ヶ谷中 校長	工藤 康男
庶務	地域協力者	中島 愛		阿佐ヶ谷中 副校長	中田 照子
	地域協力者	坪田 美奈子		阿佐ヶ谷中 生活指導主任	日下 義隆
監事	町会	池田 賢司		杉森中 校長	佐々木 啓之
	地域協力者	渡辺 光貴		杉森中 副校長	福田 和子
常任委員	町会	佐藤 文夫		杉森中 生活指導主任	山口 優
	保護司会	島田 昭仁		杉並第一小 校長	山口 祐美子
	町会	國保 厚子		杉並第一小 副校長	吉岡 光弘
	地域協力者	川瀬 恭代		杉並第一小 生活指導主任	弘井 一樹
	地域協力者	前田 理絵		杉並第七小 校長	齋藤 瑞徳
	町会	玉田 憲江		杉並第七小 副校長	青島 信也
	地域協力者	河岸 宏恵		杉並第七小 生活指導主任	荒畑 昌也
委員	地域協力者	石井 祐子	児童館	馬橋小 校長	小澤 伸生
	地域協力者	内岩 恒忠		馬橋小 副校長	廣野 寛子
	民生児童委員	比嘉 芳子		馬橋小 生活指導主任	小津 光次郎
	地域協力者	和田 奈々子		阿佐谷児童館 館長	八木 昭崇
	地域協力者	野呂 明子		阿佐谷南児童館 館長	山本 千鶴子
	地域協力者	武市 佳寿子			
	地域協力者	菊池 文			
	阿佐ヶ谷中 PTA 校外	成瀬 さおり		阿佐谷地域区民センター (地域活動係)	塚本 雄二
	阿佐ヶ谷中 PTA 校外	青沼 小百合			市村 友美



阿佐谷地域区民センター 子どもフェスティバル
6月26日(日)

コミュニティふらっと阿佐谷 秋まつり
9月25日(日)



新設されたばかりの阿佐谷地域区民センターには、阿佐谷児童館も移設し、同じ施設内であることから育成会と二緒に、バルーンアートで協同出店しました。久々の催しには、2千人以上が来場し、バルーンアートに長蛇の列が出来てしまうほどでしたが、その分たくさんの方の笑顔が見れました。

協力・協働事業



杉並第一小学校 校長 山口 祐美子

今年度4月に、区内松庵小学校より異動してまいりました山口祐美子です。どうぞよろしくお願いいたします。杉並第一小学校は創立147年を迎え、現在は346名の明るく元気な子供たちが学んでいます。学校教育活動を理解し、協力を惜しまない保護者・PTAの方々、地域運営学校として力強く支えているCS委員、すぎっ子くらぶをはじめ、地域の方々の温かなまなざしのおかげで、感染症拡大の制限による不自由さを吹き飛ばすように伸び伸びと学校生活を送ることができています。杉並区阿佐谷青少年育成委員会の皆様には、日頃より子供たちがお世話になりありがとうございます。阿佐谷青少年委員会様の様々な活動の中でも、50回を記念する開催となった阿佐谷盆踊りでは、様々な年代の人が校庭に集い、共に踊ることで、地域のつながりを感じられる時間となりました。また、ラジオ体操でも早朝から皆で音楽に合わせて体操するすがすがしさを子供たちは感じたことと思います。どちらも夏の思い出として心に残っていくと思います。子供たちを心豊かに地域の宝として育ててくださっている活動に感謝申し上げます。引き続き、よろしくお願いたします。



杉森中学校 校長 佐々木 啓之

今年度、杉並区立阿佐ヶ谷中学校から、杉並区立杉森中学校の校長として着任いたしました佐々木啓之と申します。本校は、学校運営協議会や学校支援本部、PTA活動を中心として、地域・保護者・学校と組織的・持続的な連携・協働体制を構築しています。学校運営や教育活動に家庭・地域の意向を一層的に反映し、生徒にとって豊かな成長の機会あふれる学校づくりの推進に努めてまいります。子どもたちにとっては、学校で学んだことを家庭や地域で生かしたり、確かめたりすることがとても大切です。「学校で学んだことを使おう」と思ったり、「学校で学んだことと少し違うぞ」と考えたりすることで、学びを実感できると考えています。また、子どもたちが、地域の方々と共に活動することで、地域の良さを知り、地域を愛し、「大人になった時に、地域で役割を果たすことは当然のこと」という考えをもつことにもなります。さらに、子どもたちの顔見知りの方が地域にたくさんいることは、健全育成にとって欠かせないことです。

現在、新型コロナウイルス感染症への対応、社会全体のデジタルトランスフォーメーションへの加速化など、社会の在り方が劇的に変わりつつあります。今後どのような状況になるか誰も予想することができません。しかし、どのような状況であれ、これからの時代を生き抜く子供たちは、自ら学び、考え、表現できる主体的でたくましい人に育ってほしいと願っています。

今後とも地域の子どもの健全育成のために、本校教職員一同努力を重ねて参ります。地域の皆様には、ぜひご支援とご協力をお願いいたします。

祝 五十周年阿佐谷盆おどり

令和四年七月二十二日(土)

阿佐ヶ谷姉妹 歌って踊る

コロナ禍なんて予期せぬ頃、同じ阿佐谷に住み、ピンクのドレスを着て、阿佐谷が大好きなお二人には、親近感が湧いておりました。「仕事の帰りに阿佐ヶ谷姉妹がふらりと盆踊りに寄って踊ってくれたらな」、「商店街でお友達になれないかしら、盆踊りの曲なんて書いてもらえたらな」なんて想いを膨らませていたのがつい先日のお話です。それが、本当に実現したのです。年度が代わる3月頃、テレビ朝日の深夜番組「阿佐ヶ谷ワイド!!」阿佐谷のお困り事を解決しますとポスター広告を見たのがきっかけです。密かに収録を進め、ご縁あって一大イベントになりました。阿佐ヶ谷姉妹プロデュースによる阿佐谷界隈の歌詞がたっぷり入った誰もが口ずさみたくなる曲が出来ました。「阿佐ヶ谷音頭」の振付は、輪が大きくなったり、小さくなったり、上から見ると花が開いたり、閉じたりする動きと、お隣同士で今は無理ですが、タッチが出来るようになっていきます。

50周年を迎えるにあたり、阿佐谷の盆踊りをこれからも親しみ、共に盛り上げて行きたいと考え、名称を「子ども」から「阿佐谷」へと変更いたしました。色鮮やかな「阿佐谷盆おどり」の横断幕は、目を引く会場の入り口に掲げました。コロナ禍は、共存しながら、収束の兆しと、まん延重点措置の継続により、行動制限は無かったものの、感染者が増えるたびに、不安とため息が出てしまっていたことを思い出します。日々揺らぎながらも、ではありましたが、地域行事を楽しむにしている子どもたちと阿佐谷地域活性の為に、新型コロナ感染対策ガイドラインに従い、基本的な感染対策の呼びかけ、入場制限にも協力をいただくなど、どうか本番まで漕ぎ着けた次第です。阿佐ヶ谷姉妹と共に阿佐ヶ谷音頭をオーブニングで披露できた事、地域の皆さまと一緒に踊れた事に改めて御礼を申し上げ、これからも変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



♪阿佐ヶ谷音頭♪

中央線 見えてきたよ 二本杉が
ほのか香る ケヤキ並木 中杉通り
お日様お月様も 阿佐ヶ谷素敵よ
(ソーレ行こうよ)

商店街は四方八方へ
(14あるぞ 探してみようよ)
個性溢れる嬉しいね ぷらっと行こうよ

みんなガヤガヤ 阿佐ヶ谷音頭
みんなワイワイ 踊りましょうよ
離れていても みんなふると
阿佐ヶ谷で乾杯 (ソーレ、乾杯)

中央線 並じゃないね 杉並巡り
西へ東 繋いでゆく 青梅街道
手取り合わせていこう 阿佐ヶ谷みんなで
(ソーレ行こうよ)

南には区役所と消防署
(警察あるよ、税務署近いぞ)
みんな揃って安心ね 過ごしやすいわね
(過ごしやすいわ)

みんなガヤガヤ 阿佐ヶ谷音頭
みんなワイワイ 踊りましょうよ
離れていても みんなふると
阿佐ヶ谷で再会 (ソーレ、再会)

待ち侘びていた 盆踊りとジャズストリート
待ち焦がれた 七夕祭り、飲み屋さん祭り
みんな戻ってくるね 笑顔そのまま
(ソーレ、ワイド)

今日は帰って何を見ようか
(阿佐ヶ谷ワイド!! 阿佐ヶ谷ワイド!!)
地域みんなで盛り上げられ 楽しんでいこうよ

みんなガヤガヤ 阿佐ヶ谷音頭
みんなワイワイ 踊りましょうよ
離れていても みんなふると
阿佐ヶ谷で乾杯 (ソーレ、乾杯)



委員研修 バルーン練習会

8月と9月の2回、イベントに向けて手慣らしのスキルアップをしました。委員の中島さんを講師に、チューブ動画を見ながらうさぎ、あひる、くまなどを教わり、出来た作品は児童館へお届けしました。

ラジオ体操 7月25日(月)〜31日(日)

杉一小会場

阿佐谷青少年育成委員会で声かけしている「あいさつ運動」の通り、地域の方、保護者の方、子どもたちの元気なおはようございます!の挨拶と共に、開始時間6時30分には、皆集合していました!涼しい時間に起床し朝の光を浴びて、全身まんべんなく使うラジオ体操は、とても気持ちの良いものです。子どもたちは、友達と遊ぶ約束ができる場にもなり、楽しそうでした。最終日に皆勤賞や参加賞を手にした子どもたちの達成感や喜びに満ちた笑顔が印象的でした。夏の風物詩ラジオ体操は、生活リズムが整い、夏休み中でも友達に会い、子どもの社交性を育む場にもなりました。また朝早くから、交通の見守りや会場でお手伝いをしてくださった杉一小保護者の皆さまにも感謝いたします。

杉一小会場参加人数 (7日間)	757人
皆勤賞 (子どものみ)	44人
杉七小会場参加人数 (7日間)	953人
皆勤賞 (子どものみ)	51人
両会場延べ参加者数	1,710人

芝生ジャンボリー

5月14日(土)

芝生ジャンボリーは雨天のため室内での縮小した開催となりました。阿佐ヶ谷中学校のボランティアの生徒と一緒に、バルーンで花のプレゼントを作り1年生へプレゼントしました。1年生も中学生からのバルーンのプレゼントを喜んでおりました。ラストを飾る阿佐ヶ谷中学校の吹奏楽部による演奏は予定通り行うことができ、子どもたちも生演奏は大盛り上がりでした。雨とはいえとても素晴らしい会になりました。